

1. 科目名 (単位数)	ボランティア論 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1330
2. 授業担当教員	中里 哲也		
4. 授業形態	講義 (ディスカッションを含む)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	今日、わが国においてボランティア活動は大きな注目を集めている。阪神・淡路大震災においてボランティアの貢献度が新たに目覚められ、以後、学問的なボランティア論としての研究も活発になされるようになった。ボランティア活動は今日、様々な内容に拡大化、多様化しているが、同時にいくつかの課題も浮き彫りにされてきている。本講義において、福祉ボランティアを中心に、活動の現状と課題を探り、今後ボランティアコーディネーターとしての活躍も期待されている福祉系の学生が、必要な知識を会得するよう、講義、視聴覚教材、受講生による発表とディスカッションを通して学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになる。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになる。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深める。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>秋季学期中に各学生の興味・関心に応じて、1 回以上のボランティア活動 (施設の日行事ボランティア等) を行い、その内容と成果について授業内で発表するとともに、レポート (報告書) を提出する。 ※レポートは、A4 で 3 枚程度とする。 ※提出は、冬季休校期間明けの最初の授業時とする。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 岡本榮一 監修、守本友美、河内昌彦、立石宏昭編著「ボランティアのすすめ 基礎から実践まで」ミネルヴァ書房、2005 年。 【参考書】 三本松政之・朝倉美江編『福祉ボランティア論』有斐閣アルマ、2007 年。 巡静一・早瀬昇編著 大阪ボランティア協会監修『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』中央法規、1997 年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになったか。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになったか。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深めることができたか。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができたか。 <p>○評定の方法 授業への積極的参加度 40% 課題レポート 30% 期末評価 (レポート・試験等) 30%</p> <p>※ 東京福祉大学の学則 (第 36 条) に則り、成績評価に必要な出席時間数を満たしていない受講生の評価は行わない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席・遅刻・早退をしないこと。 2. 授業中は携帯電話や PHS 等の電源は切り、私語・居眠りは慎み、常に緊張感と集中力を保つこと。 3. 授業での積極的な取り組みを評価するので、グループ・ディスカッションや意見の発表時には間違いを恐れず、主体的に取り組むこと。 4. 授業中に指示された課題の提出期限は守ること。 5. 学期内にボランティア活動を計画的かつ積極的に行うこと。施設ボランティアだけがボランティアではない。エコキャップや使用済み切手の収集と提供などもボランティアである。 		
13. オフィスアワー	原則としては授業の前後。但し、時間を要する場合は双方で相談し、日時や場所を決めましょう。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業ガイダンス (教員の自己紹介、受講生の自己紹介ーボランティア体験や関心のあるボランティアについて、授業の進め方の説明など)	事前学習	ボランティアについて自分が持っているイメージをまとめる。
		事後学習	これからやりたいボランティア活動について考え、まとめる。
第 2 回	ボランティア活動とは何か	事前学習	自分なりに、ボランティア活動とは何かを考え、まとめる。
		事後学習	学習した内容を整理し、ボランティア活動について学んだ点をまとめる。
第 3 回	ボランティア活動の歴史と発展	事前学習	ボランティアの起源や歴史、発展について、調べておく。
		事後学習	ボランティア活動の歴史の変遷について、授業で学んだ要点をまとめる。
第 4 回	ボランティア活動を始めるにあたって	事前学習	ボランティア活動を始めるにあたって留意すべき点について、自分で考え、まとめる。
		事後学習	ボランティア活動を始めるにあたって留意すべき点についてまとめる。
第 5 回	現場の職員としてボランティアを受け入れる意義	事前学習	ボランティアを受け入れる立場に立って、ボランティア活動を考えてみる。
		事後学習	ボランティアを受け入れる際の実践現場のメリットやデメリットについてまとめる。

第6回	災害とボランティア（実践例から学ぶ）	事前学習	阪神・淡路大震災、東日本大震災について調べておく。
		事後学習	災害ボランティアについて、学んだ点についてまとめる。
第7回	地域福祉とボランティア	事前学習	自分の生活している地域において、自分ができるボランティア活動について考える。
		事後学習	地域福祉を推進していく上で、ボランティアが果たす役割や意義についてまとめる。
第8回	高齢者福祉とボランティア	事前学習	現在の日本の高齢者の状況について調べておく。
		事後学習	高齢者に関わるボランティア活動について学んだ点をまとめる。
第9回	障がい者福祉とボランティア	事前学習	ノーマライゼーションについて調べてまとめる。
		事後学習	障がい者に関わるボランティア活動について学んだ点をまとめる。
第10回	子ども家庭福祉とボランティア	事前学習	わが国の子どもと家庭を取り巻く課題について挙げる。
		事後学習	子どもに関わるボランティア活動について学んだ点をまとめる。
第11回	国際問題、及び環境問題とボランティア	事前学習	日本や世界を見渡して、どのような国際問題や環境問題があるか挙げておく。
		事後学習	環境に関わるボランティア活動について学んだ点についてまとめる。
第12回	ボランティアコーディネーターの機能と役割	事前学習	成果発表の準備をする。
		事後学習	成果発表の振り返りと、他者のボランティア活動から学んだ点をまとめる。
第13回	ボランティア活動についての成果発表1	事前学習	成果発表の準備をする。
		事後学習	成果発表の振り返りと、他者のボランティア活動から学んだ点をまとめる。
第14回	ボランティア活動についての成果発表2	事前学習	成果発表の準備をする。
		事後学習	成果発表の振り返りと、他者のボランティア活動から学んだ点をまとめる。
第15回	ボランティア活動についての成果発表3	事前学習	ボランティアコーディネートについて自分なりに調べておく。
		事後学習	全15回のまとめをおこなう。